

生越文明ワークショップ修了展『存在証明』

会 期:2026年4月18日(土)~4月26日(日) 13:00-19:00

※最終日16:00まで ※休館日:4月20日(月)

会 場:PLACE M YOKOHAMA (東急東横線 反町駅から徒歩3分)

<https://placem.yokohama/>

参加者:稲村泉・大平勝彦・中沢賢治・西崎由里子・久永修・吉田博

作品数:モノクロ・カラー50点

本ワークショップは2024年9月にスタートして毎月1回のペースで実施してきました。

前半は『写真表現の根っこを探すワークショップ』と題して、参加者の皆さんの写真表現に影響を与えている要素、普段は気が付かないで無意識に狙っている対象や興味を探すことを目的に行いました。例えばご自身の人生を振り返って写真に影響を与えたであろう出来事、芸術家、音楽家、詩人、小説家などを紹介すること。PCに眠る駄作やつまらないと思う作品を持ち寄りお互いに見せ合いました。この過程で各自の写真の特徴や個性を見つける試みをしました。

後半は『自分の存在を証明するワークショップ』と題して前半で考えた個性を踏まえた作品作りの場としました。ここでは写真と言葉(作品ステートメント)のバランスと関係性を重点的に検討しました。作品研究では、実際の開催されている写真展に足を運び展示作品と作品ステートメントを見比べて作者の意図が十分に伝わっているか否かを検討しました。作品演習では写真集に掲載されている作品ステートメントだけを読んでもらって絵柄を想像して「絵コンテ」に描いて発表してもらいました。その後、今回の写真展の作品作りを開始しました。

参加者は写真キャリアの長いベテランの方から写真を撮り始めたばかりの初心者の方まで多岐にわたっています。写真は上手に撮れるのに作品ステートメントに苦戦した方、逆に作品ステートメントは素敵なのに写真撮影に行き詰ってしまう方など得手不得手も鮮明になりました。

このワークショップはご自身の写真作品の個性、伝えたいこと、表現したいことを考えるきっかけにすぎません。これからずっと考え続けて頂き、ある日「そういうことだったのか!」と腹の底から納得できる日が来たらこれに勝る喜びはありません。

旅しない写真家 生 越 文 明